

# 転倒転落発生後の初期対応 の標準化への取り組み

公立大学法人

横浜市立大学附属市民総合医療センター

# 研究目的・方法

## 《目的》

転倒転落後における、標準化した初期対応を作成する

## 《方法》

- ①転倒転落後の初期対応に関する文献検索
- ②A病院の現状把握（インシデントレポート、診療録等より）
- ③転倒転落グループで検討・作成
- ④発生事例の多い4病棟でプレテスト

# 「転倒転落後の対応」に関する検索結果

B病院 頭部外傷患者のCTの適応について

1, 3, 6時間後に症状観察

C病院

発見時～15分の対応

(観察、報告システム、治療・処置等)

D病院

クリティカルパス形式に発生～2週間

E病院

観察・報告・処置等の対応

24時間は意識状態・悪心嘔吐を観察

(観察時間の指定なし)

F病院

発生直後の観察・報告・処置等

(観察時間の指定なし)

# A病院の診療記録からの現状

- 転倒転落直後は詳細に記録されているが、その後の多くは各勤務帯毎にサマライズされていた。  
(サマライズでは経時的な変化が不明確)
- 家族への説明は行っているが、軽症の場合記録に残っていないこともある。

# グループ内で検討

## 【グループの核メンバー】

脳外科医師、整形外科医師、リハビリテーション科医師、  
看護師長3名

## 【検討内容】

①転倒転落で要注意なのは、頭部外傷と骨折 →頭部とそれ  
以外にわけた



それぞれの重症度に応じた対応（観察・検査など）

②「初期」の定義

急性頭蓋内出血などの重症例にも対応できるよう、  
転倒後6時間までを初期対応とした

③出血性素因の考慮

④当直勤務体制の考慮

# 「転倒・転落後の初期対応シート」作成・検討

以下の内容を網羅したシートを作成した。

(4病棟でのプレテスト、安全管理室からの助言も得て)

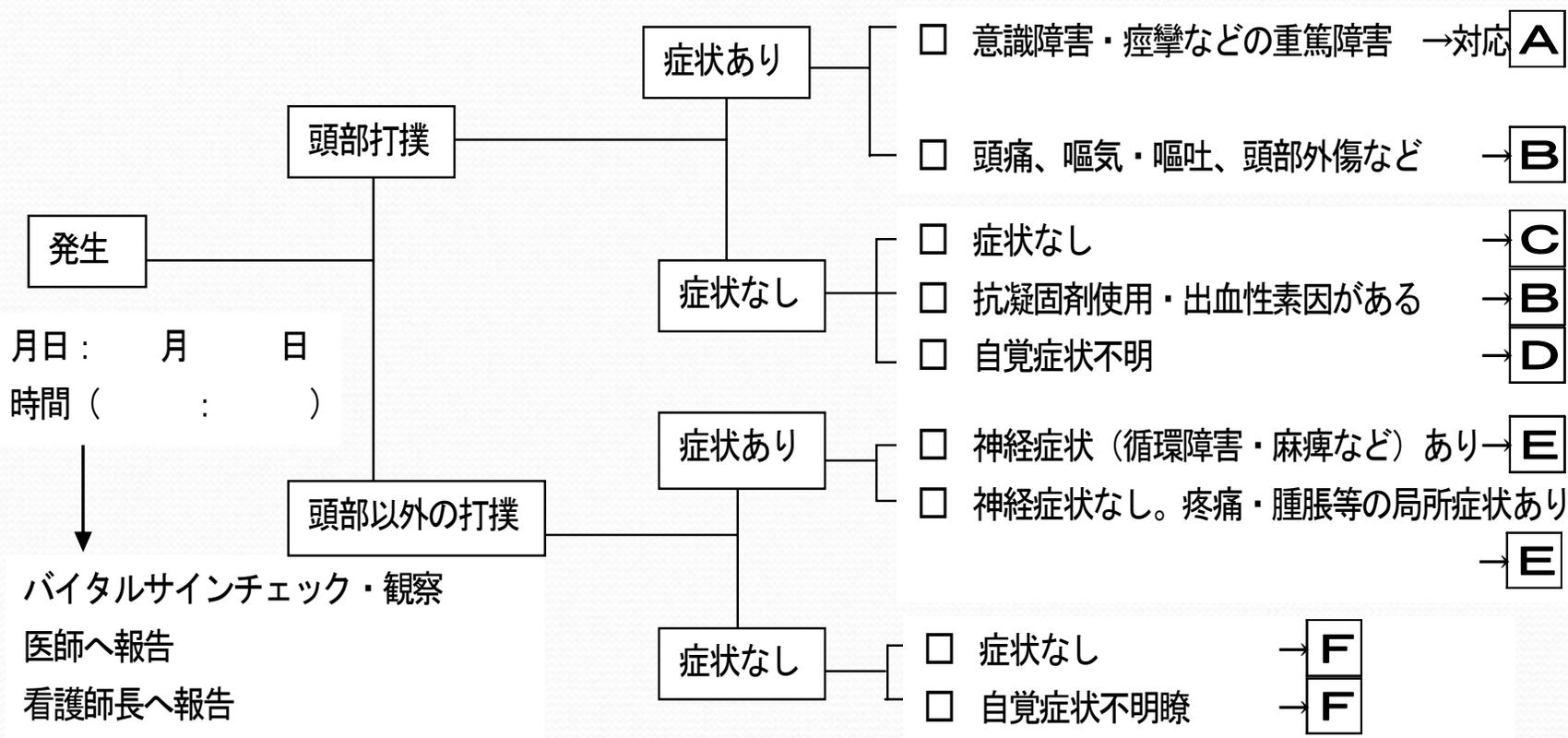
- ①発生時の状況に合わせたふり分けをし、  
チャート式に分類
- ②状況に見合った対応内容と6時間までの  
症状観察・バイタルサインチェックを実施
- ③実施内容の確認と初期対応結果を表示

# 作成したシート

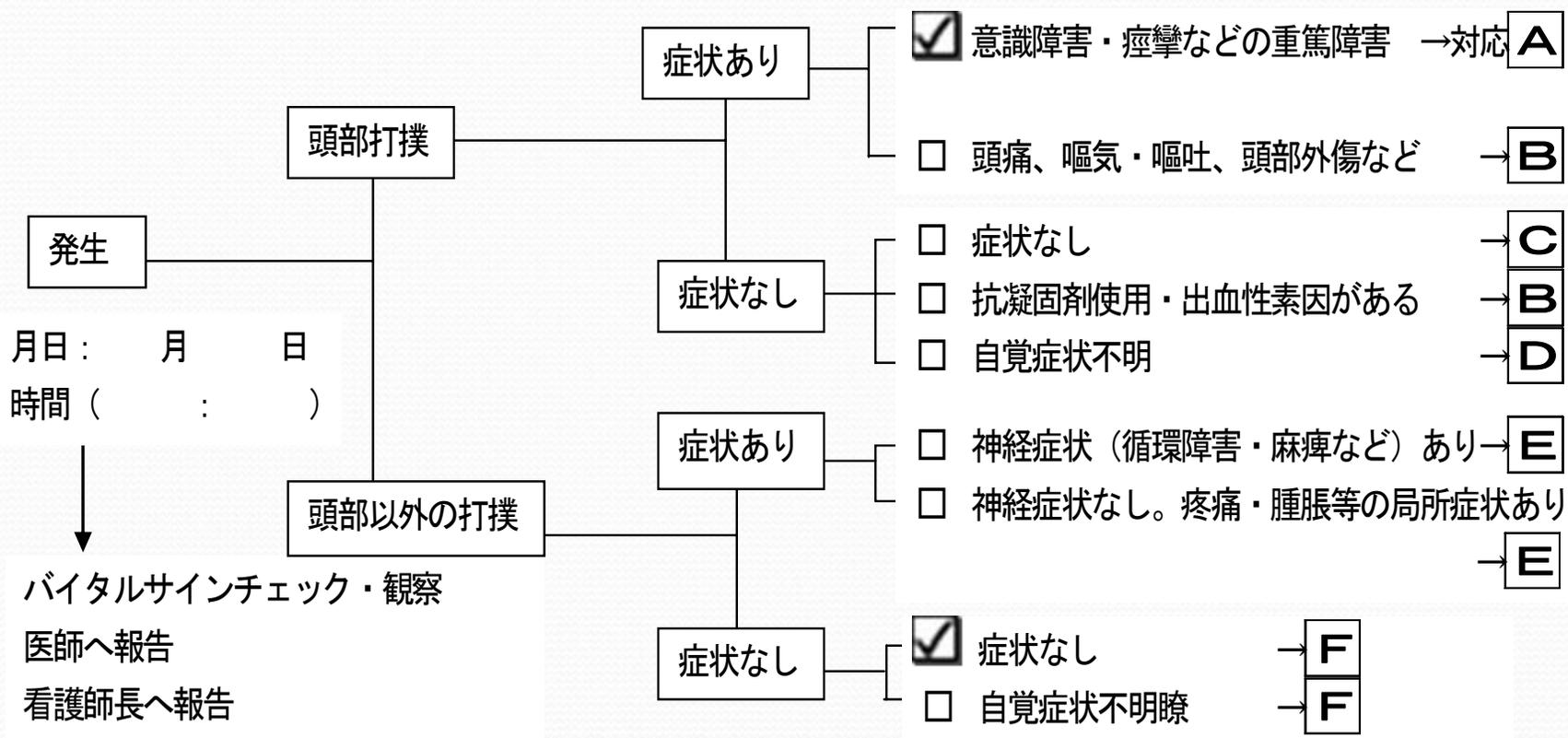
ID  記載者:  発生 月日: 月 日 時間 ( : ) ↓ バイタルサインチェック・観察 医師へ報告 看護師長へ報告	<h2 style="text-align: center;">転倒・転落後の初期(6時間)対応シート</h2> <p>以下の対応はミニマムスタンダードです。 患者状況を判断し必要に応じて、観察・バイタルサインチェックの頻度を追加してください。観察内容は経時的に記録してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>頭部打撲</b></p> <p>症状あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 意識障害・痙攣などの重篤障害 → 対応 <b>A</b></li> <li><input type="checkbox"/> 頭痛、嘔気・嘔吐、頭部外傷など → <b>B</b></li> </ul> <p>症状なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 症状なし → <b>C</b></li> <li><input type="checkbox"/> 抗凝固剤使用・出血性素因がある → <b>B</b></li> <li><input type="checkbox"/> 自覚症状不明 → <b>D</b></li> </ul> <p><b>頭部以外の打撲</b></p> <p>症状あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 神経症状(循環障害・麻痺など)あり → <b>E</b></li> <li><input type="checkbox"/> 神経症状なし。疼痛・腫脹等の局所症状あり → <b>E</b></li> </ul> <p>症状なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 症状なし → <b>F</b></li> <li><input type="checkbox"/> 自覚症状不明瞭 → <b>F</b></li> </ul> </div> <div style="width: 50%;"> <p><b>対応内容</b> (該当するものに○をつけてください)</p> <p>※頭部打撲と頭部以外の打撲が重なった場合は、それぞれについての対応を実施してください。</p> <p><b>実施チェック</b></p> <p>3時間後 ( : )</p> <p>6時間後 ( : )</p> <p><b>初期対応結果</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 継続(6時間後以降も観察を行う場合、内容は経過記録に記載する)</p> <p>ご本人もしくはご家族への速やかな説明</p> <p><input type="checkbox"/> 済(誰に: ) <input type="checkbox"/> 未</p> </div> </div>
--	---

リスクマネジャー会議 転倒・転落対策グループ  
平成21年10月13日 安全管理対策委員会承認、平成21年10月16日 部長会承認

# ①発生時の状況に合わせたふるい分けをし、 チャート式に分類



# ①発生時の状況に合わせたふるい分けをし、 チャート式に分類



## ②状況に見合った対応内容と6時間までの 症状観察・バイタルサインチェックを実施

### 対応内容

(該当するものに○をつけてください)

※頭部打撲と頭部以外の打撲が重なった場合は、それぞれについての対応を実施してください。

A：頭部CT撮影し脳外科医師へ連絡。

観察・バイタルサインチェックは医師の指示を受ける。

B：頭部CT撮影し、担当医師の判断で脳外科医師に連絡。

観察・バイタルサインチェックは3時間後、6時間後。

C：観察・バイタルサインチェックは3時間後。

D：観察・バイタルサインチェックは3時間後、6時間後。

E：患部X線撮影し、担当医師の判断で整形外科医師に連絡。

症状観察は3時間後、6時間後。

F：症状観察は3時間後。

## ②状況に見合った対応内容と6時間までの 症状観察・バイタルサインチェックを実施

### 対応内容

(該当するものに○をつけてください)

※頭部打撲と頭部以外の打撲が重なった場合は、それぞれについての対応を実施してください。

A：頭部CT撮影し脳外科医師へ連絡。

観察・バイタルサインチェックは医師の指示を受ける。

B：頭部CT撮影し、担当医師の判断で脳外科医師に連絡。

観察・バイタルサインチェックは3時間後、6時間後。

C：観察・バイタルサインチェックは3時間後。

D：観察・バイタルサインチェックは3時間後、6時間後。

E：患部X線撮影し、担当医師の判断で整形外科医師に連絡。

症状観察は3時間後、6時間後。

F：症状観察は3時間後。

# ③実施内容の確認と初期対応結果を表示

## 実施チェック

- インシデント入力
- 転倒転落スコア再チェック
- A・Bの場合 →頭部CT撮影
- Eの場合 →患部X線撮影
- 3時間後 ( : )  症状観察・バイタルサインチェック 記録
- 6時間後 ( : )  症状観察・バイタルサインチェック 記録

## 初期対応結果

- 終了
- 継続(6時間後以降も観察を行う場合、内容は経過記録に記載する)  
ご本人もしくはご家族への速やかな説明
- 済 (誰に: ) 未

# ③実施内容の確認と初期対応結果を表示

## 実施チェック

3時間後 ( ○ : ○ )

6時間後 ( ○ : ○ )

- インシデント入力
- 転倒転落スコア再チェック
- A・Bの場合 →頭部CT撮影
- Eの場合 →患部X線撮影
- 症状観察・バイタルサインチェック  記録
- 症状観察・バイタルサインチェック  記録

## 初期対応結果

- 終了
- 継続(6時間後以降も観察を行う場合、内容は経過記録に記載する)  
ご本人もしくはご家族への速やかな説明
- 済 (誰に: )  未

# まとめ

- 多職種と検討し、転倒転落後に統一した対応が出来るシートを作成することができた。
- 転倒後の重症例を考慮し、初期対応は6時間とした。
- シートの構成は以下の通りである。
  - ①発生時の状況に合わせたふり分け
  - ②状況に見合った対応内容
  - ③実施内容の確認と初期対応結果
- 今後は職員への定着とシートの活用を推進する。